

マイクロン、転換社債の買戻しを発表

米アイダホ州ボイシー、2014年1月28日(GLOBE NEWSWIRE)-- マイクロン テクノロジー社(Nasdaq: MU) は本日、個別の取引により、2031年満期、利率1.875%のシニア転換社債(以下「2031年B債」といいます。)のうち総額面金額約2千6百万ドル分を現金6千5百万ドルで、また2032年満期、利率2.375%のシニア転換社債(以下「2032年C債」といいます。)のうち総額面金額約1億ドル分を現金2億4千9百万ドルで、同じく2032年満期、利率3.125%のシニア転換社債(以下「2032年D債」といいます。)のうち総額面金額約3千8百万ドル分を現金9千3百万ドルで、それぞれ買戻しをおこなったと発表しました。 マイクロンでは、上記の買戻しは2014年1月28日までに完了するものと予想しています。

また、マイクロンでは上記買戻しの完了に伴い、2031年B債のうち総額面金額約1億1千4百万ドル分、2032年C債のうち総額面金額約4億5千1百万ドル分、および2032年D債のうち総額面金額約4億1千2百万ドル分が、引き続き発行済として残存するものと見込んでいます。 マイクロンでは2014事業年度第2四半期において、当該買戻しに関連する費用として約1千万ドルを計上する予定です。

マイクロンの副社長兼CFOであるRon Foster氏は次のように述べています。「本日発表した取引により、既発の転換社債による希薄化効果が軽減されています。 これにより、株価23ドルの場合の潜在株式数を約1千万株減少させ、残存する当社債務について額面金額で約1億6千4百万ドル分削減しました。 昨年11月以降、当社社債の希薄化効果は株価23ドルの場合で約5千2百万株分軽減されています」

マイクロンについて

マイクロン テクノロジー社は、先進的な半導体システムを提供する世界的大手企業です。 DRAM、NAND、NORフラッシュを含むマイクロンの幅広い高性能メモリテクノロジーポートフォリオは、ソリッドステートドライブ、モジュール、マルチチップパッケージ、その他のシステムソリューションの基礎になっています。 35年以上にわたるテクノロジー分野でのリーダーシップにより、マイクロンのメモリソリューションは世界で最も革新的なコンピュータ、コンシューマ、エンタープライズストレージ、ネットワーキング、モバイル、組み込みおよび車載アプリケーションを実現しています。 マイクロン テクノロジー社の普通株式はNASDAQにMUのコード名で上場取引されています。 マイクロン テクノロジー社に関する情報は www.micron.com をご覧下さい。

Micron および Micron の軌道ロゴは Micron Technology, Inc. の商標です。その他の商標はすべて、それぞれの所有権者に帰属します。

このプレスリリースには、2014 事業年度第 2 四半期における費用の計上に関する将来予測の記述が含まれています。実際の出来事や結果は、将来予測の記述に含まれる内容と大きく異なる可能性があります。マイクロンが米証券取引委員会に対し随時提出する連結ベースの書類、具体的にはマイクロン最新のフォーム「10-K」と「10-Q」をご覧ください。これらの書類は、マイクロンによる連結ベースの実際の結果と「将来予測」に記載されたものが大きく異なる原因となり得る重要な要因を含むと共に、それらを特定しています（「特定の要因」を参照）。当社は「将来予測」に示された期待は妥当だと考えておりますが、将来の結果、活動のレベル、実績、あるいは成果を保証するものではありません。

お問い合わせ先： Kipp A. Bedard
Investor Relations
kbedard@micron.com
(208) 368-4465

Daniel Francisco
Media Relations
dfrancisco@micron.com
(208) 368-5584